

第3章 パソコンによる制御

パソコンと接続することにより、セーブ/リコールのパネル設定をフロッピー・ディスク等に一括してダウン・ロードやアップ・ロードすることができます。パソコンと接続するケーブルは、D-SUB 25 pin ストレートケーブルを使用します。尚、パソコンは IBM-PC/AT または互換機を対象とします。

付属のフロッピーディスクには DOS/V、Windows95 版の両方が入っています。

3.1 DOS/V 版ユーティリティ・プログラム


3.1.1 インストールおよび設定

- ① 付属フロッピーディスク DOS ディレクトリの内容を、パスの通った適当なディレクトリへコピーします。

ファイルの内容は下記のようにになっています。

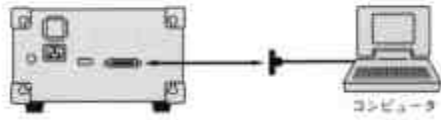
SR.EXE	SRV.EXE, SRVIEW.EXE を簡単な操作で起動することができる簡易セレクター
SRV.EXE	セットアップファイル転送ユーティリティ
SRVIEW.EXE	セットアップファイルビューア/コメントエディタ
SR.TXT	ユーティリティ取扱説明書
40P.DEF	SS-7840P/SS-7825P 用パラメータファイル
500P.DEF	TS-8500P 用パラメータファイル
README.TXT	使用説明

- ② このプログラムは、ANSI.SYS を必要としますので、CONFIG.SYS 等で組み込みを行って下さい。
- ③ BIOS 設定の System Security -On Board Communication Ports でパラレルポートのポートアドレスと動作モードを設定します。

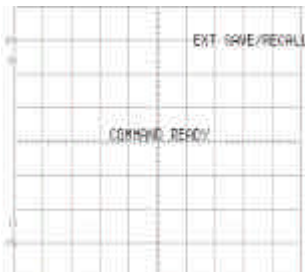
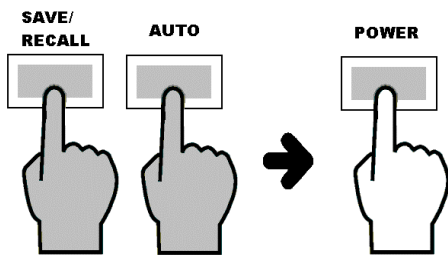
 Operation Mode でパラレルポートに接続する周辺機器の種類を、Standard Parallel Port (SPP) Mode (または片方向モード) に設定します。

- ④ BIOS 設定はパソコンにより異なりますので、パソコン付属の説明書を参照して下さい。

3.1.2 起動方法



SR.EXE ↩



- ① 本体背面のコネクタとパソコンのプリンタポートを D-SUB 25pin ストレートケーブルで接続します。
- ② パソコン側の制御プログラムを起動します。コマンドラインから SR.EXE と入力し実行します。
- ③ SAVE/RECALL キーと、AUTO キーを同時に押しながら電源スイッチを押します。
- ④ 操作パネルの全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯するまで、しばらくキーを押し続けます。
- ⑤ 全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯したら、キーを放します。
- ⑥ オシロスコープの管面右上に、"EXT SAVE/RECALL" と表示されます。



- ・この状態で、本体のキーは電源スイッチ以外は全て無効です。中止したい場合は、電源を入れ直してください。
- ・通信が終了したら、パソコンとの接続ケーブルを外してください。

3.1.3 使用方法

起動後、パソコンに下記のような画面が表示されます。

```
V:View 0:PC->SS I:SS->PC S:Sort E:End
Dir: A:
-----
-----
40P .DEF      11 95-06-13 18:50
SR  .EXE    15317 95-06-28 13:36
SRV .EXE    12397 95-07-01 13:40
SRVIEW .EXE  14823 95-06-14 23:38
MP  .DAT    16075 95-07-01 13:28 TEST
MP1 .DAT    16075 95-07-01 13:41 TEST1
MP2 .DAT    16075 95-07-01 14:56 TEST2
```

コメント(*1)

この時、下記ののキー入力有効です。

	カーソルを上移動
	カーソルを下移動
PAGEUP	ページアップ
PAGEDOWN	ページダウン
V	カーソルで選んだファイルをビューアで表示
RET	Vと同じ機能
O	カーソルで選んだファイルを送信
I	オシロスコープからセットアップファイルを受信
E	オシロスコープを通常モードにし、プログラムを終了する
ESC	Eと同じ機能

① ビューア表示

カーソルでセットアップファイルを選択し、V を押します。
下記のような各セットアップのコメント、パネル設定の概要が表示されます。

TEST2											
No.	Comment	Contents									
---	-----	---1---	---2---	---	---4-	SW	ATRG	BTRG	--A--	-B--	MH
1	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
2	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
3	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
4	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
5	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
6	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
7	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
8	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
9	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
10	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH
11	[]	5	AC	5	AC		AT	1+AC	100u		MH

この時、下記のキー入力が有効です。

	カーソルを上を移動する
	カーソルを下を移動する
PAGEUP	ページアップ
PAGEDOWN	ページダウン
RET	カーソル行のコメント編集モードの ON/OFF
ESC	ビューアを終了する

② セットアップファイルの送信

オシロスコープにセットアップファイルを送信します。

- ・カーソルでセットアップファイルを選択し、O を押します。



転送中はパソコンのキーボードに触れないでください。

③ パネルセットアップの受信

オシロスコープのパネルセットアップをファイルに保存します。

- (1) I を押します。
- (2) 書き込むファイル名を入力します。
- (3) ファイルのコメントを入力します。

・コメントはセットアップファイルと一緒に書き込まれ、「3.1.3 使用方法」の SR.EXE 起動時の画面例でコメント(*1)と表示してある場所に表示されます。

- (4) コメント入力後、オシロスコープからデータを受信します。



転送中はパソコンのキーボードに触れないでください。



・何らかの原因でデータ転送が止まった場合、パソコンのどれかキーを押すことでファイル転送を中断します。その場合、オシロスコープを再度外部通信モードで電源を入れ直してください。

④ 終了

プログラムを終了します。

- ・ E を押します。



- ・ オシロスコープが通常モードに戻ったら、パソコンと接続しているケーブルをはずしてください。
- ・ このインターフェースは外部シーケンサによるリコールの制御と共用しているため、接続したままだとパソコンからの信号により、リコール機能が誤動作することがあります。

3.2 Windows95 版ユーティリティ・プログラム


3.2.1 インストールおよび設定


- ① 付属フロッピーディスク WINDOWS ディレクトリの内容を、適当なディレクトリへコピーします。

ファイルの内容は下記のようになっています。

PRGOSC.EXE	ユーティリティ・プログラム本体
PRGOSC.HLP	ヘルプファイル
PRGOSC.CNT	"
PRGOSC.GID	"
40P.DEF	SS-7840P/SS-7825P 用パラメータファイル
500P.DEF	TS-8500P 用パラメータファイル
README.TXT	インストール説明

- ② BIOS 設定の System Security - On Board Communication Ports でパラレルポートのポートアドレスと動作モードを設定します。

 Operation Mode でパラレルポートに接続する周辺機器の種類を、Standard Parallel Port (SPP) Mode (または片方向モード) に設定します。

 本プログラムで設定できるポートアドレスは、278h または 378h です。接続するパラレルポートのアドレスをどちらかに設定して下さい。

- ③ BIOS 設定はパソコンにより異なりますので、付属の説明書を参照して下さい。



・ BIOS 設定は主にメモリやハードディスク、フロッピーディスクドライブなどのハードウェア環境を設定するためのプログラムです。コンピュータを起動後に、BIOS 設定を行うか問い合わせてきます。

3.2.2 Windows95 の設定

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。
次に、[コントロールパネル] をクリックします。
- ② [システム] のアイコンをダブルクリックします。
- ③ [デバイスマネージャ] のタブをクリックします。



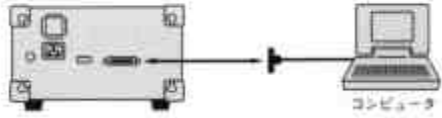
- ④ [プリンタポート] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。

- 5 [リソース] タブをクリックし、I/O ポートアドレスが [BIOS 設定] のアドレス (278h または 378h) と同じであることを確認します。



- 6 I/O ポートアドレスが異なる場合は、[自動設定] のチェックをオフにし、[設定の登録名] のプルダウンリストから該当するものを選びます。
- 7 [OK] をクリックします。

3.2.3 起動方法



- ① 本体背面のコネクタとパソコンのプリンタポートをD-SUB 25pinストレートケーブルで接続します。



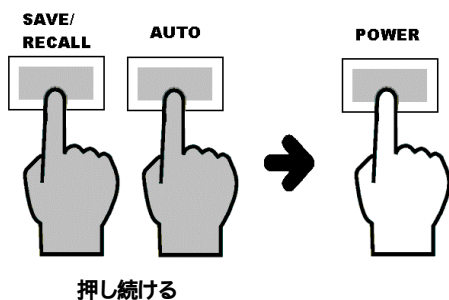
- ② [PrgOsc.exe] をダブルクリックしてプログラムを起動します。



- ③ [ファイル] メニューをクリックし、[パラレルポートの設定] をポイントします。



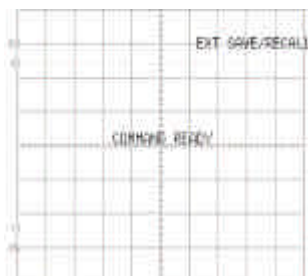
- ④ [BIOS 設定] と [Windows 設定] で行った [I/O ポートアドレス] のラジオボタンをクリックします。



⑤ SAVE/RECALL キーと、AUTO キーを同時に押しながら電源スイッチを押します。

⑥ 操作パネルの全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯するまで、しばらくキーを押し続けます。

⑦ 全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯したら、キーを放します。



⑧ オシロスコープの管面右上に、"EXT SAVE/RECALL" と表示されます。

❗ オシロスコープ本体の電源を入れる前にプログラムを起動して下さい。



- ・この状態で、本体のキーは電源スイッチ以外は全て無効です。中止したい場合は、電源を入れ直してください。
- ・通信が終了したら、パソコンとの接続ケーブルを外してください。

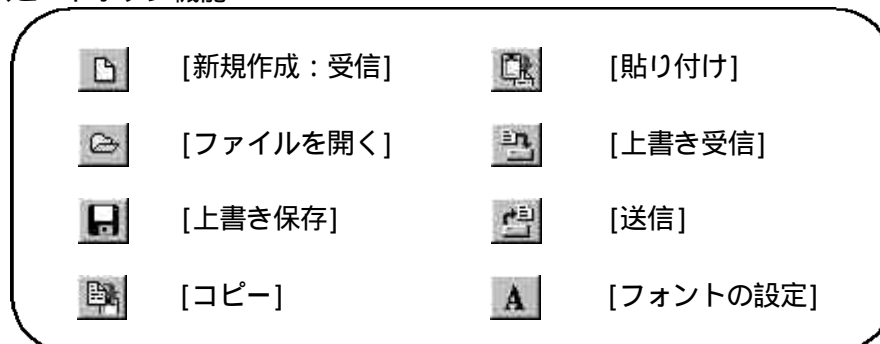
3.2.4 使用方法

起動後、パソコンに下記のようなウィンドウが表示されます。



① 画面の説明

スピードボタン機能



セットアップタイトル名



・セットアップファイルのタイトル名です。クリックすることで編集できます。

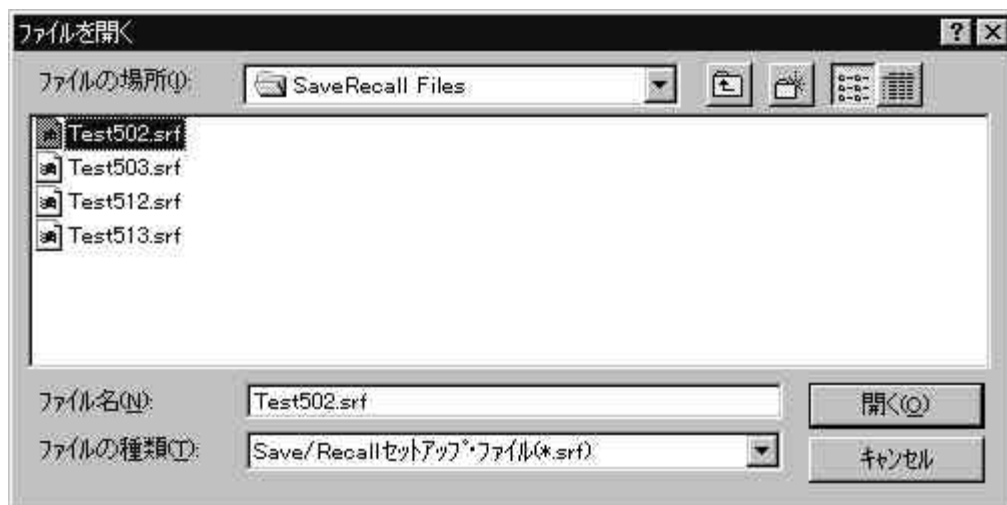
② パネルセットアップの受信

- (1) [ファイル]メニューをクリックし、[新規作成：受信]をポイントします。
- (2) セットアップデータ通信ダイアログが表示され、データを受信します。
- (3) プロGRESSバーが 100% になれば受信完了です。



③ ファイルの読み込み

- (1) [ファイル]メニューをクリックし、[開く]をポイントします。
- (2) [ファイル名を開く]ダイアログが表示されます。読み込むファイル名を指定します。




Windows版のファイルの拡張子には srf が付きます。
従来のファイルを読み込むときは、ファイルの種類で[すべてのファイル]を指定してます。

④ セットアップファイルの送信

- (1) [データ転送]メニューをクリックし、[送信]をポイントします。
- (2) セットアップデータ通信ダイアログが表示され、データを送信します。
- (3) プロGRESSバーが 100% になれば送信完了です。

⑤ ファイルへ保存

- (1) [ファイル]メニューをクリックし、[名前を付けて保存]をポイントします。
- (2) [ファイル名を付けて保存]ダイアログが表示されます。保存する場所を決め、名前を付けてデータを保存します。

 拡張子は srf が付きます。

⑥ セットアップタイトルの編集

- (1) セットアップタイトルのエディットボックス部分をクリックします。
- (2) キーボードから文字を入力します。

⑦ コメントの編集

- (1) 編集するコメントの部分をダブルクリックします。
- (2) [コメントの編集]ダイアログが表示されます。
キーボードからコメントを入力し、[OK]を押します。



- ・何らかの原因でデータ転送が止まった場合、中止を押すことでファイル転送を中断します。
その場合、オシロスコープをもういちど外部通信モードで電源を入れ直してください。

3.2.5 その他

- ① **上書き受信**
 - ・すでに開いているセットアップデータに上書きして受信します。
 - ・[データ転送]をクリックし、[上書き受信]をポイントします。

- ② **上書き保存**
 - ・すでに保存したファイルに、上書きして保存します。
 - ・[ファイル]をクリックし、[上書き保存]をポイントします。

- ③ **フォントの設定**
 - ・セットアップデータの表示フォントの種類や大きさを設定します。
 - (1) [表示]をクリックし、[フォントの設定]をポイントします。
 - (2) [フォントの指定]ダイアログが表示されます。
 - (3) 設定が終了したら、[OK]を押します。

- ④ **コピーと貼り付け**
 - ・セーブ/リコールの1レコード(全てのパネル設定)を、他のレコードへコピーします。
 - (1) コピーするセーブ/リコールの項目をクリックします。
 - (2) [編集]をクリックし、[コピー]をポイントします。
 - (3) 貼り付けるセーブ/リコールの項目をクリックします。
 - (4) [編集]をクリックし、[貼り付け]をポイントします。

3.3 通信が完了しない場合は

通信が完了しない場合は、下記事項を確認して下さい。

- (1) オシロスコープとパソコンの接続が正しいか。
- (2) パラレルインターフェースの設定が正しく設定されているか。
- (3) プログラムを起動後にオシロスコープを起動しているか。

